



つながろう

CO・OPアクション情報

2011年11月24日

第7号

◆組合員さんの声が 大きな励みに



(「コープフェスタ 2011」参加)
水野食品株式会社
専務取締役 水野 茂氏

震災当日、石巻市にある水産物加工工場は7mの津波に襲われ、1階にあったものは全てが流されてしまいました。しかし、製造用の機械を置いていた2階部分はろうじて残ったので、余震の続く中、復旧工事を始め、11月から製造を再開することができました。

まだ生産量は被災前の10分の1程度ですが、少しずつ進めたいと思います。

組合員さんからは「待っているよ」というメッセージをたくさんいただき、大きな励みになりました。

生協さんとは30年近いお付き合いで、会社は組合員の皆さんに育てていただきました。ご縁があって本当によかったと思っています。

この石巻で初心に帰り、よりおいしいものを頑張って作っていきます。引き続きよろしく願い申し上げます。

笑顔がつながり、10万人が来場

～さいたまコープなど4団体が震災支援イベント～



双葉町婦人会のふれあい茶屋。約2時間半で、すべて完売した。

11月5日と6日、東日本大震災復興支援を目的に、「コープフェスタ 2011 つなげよう笑顔」（主催：さいたまコープ、コープネット事業連合）、「健康フェスタ」（主催：医療生協さいたま）、「国際フェア 2011」（主催：（財）埼玉県国際交流協会）、「埼玉物産観光フェア」（主催：（社）埼玉県物産観光協会）がさいたまスーパーアリーナで同時開催され、2日間で約10万人が訪れました。

「コープフェスタ 2011 つなげよう笑顔」の「再会と交流 復興支援ゾーン」では、東北3県の県産品の試食販売などのほか、「ふれあい茶屋」も登場。埼玉県内で避難生活を送る福島県双葉町の婦人会の皆さんが、郷土料理「イカにんじん」や柏餅を販売し、好評を博していました。また、会場内のステージでは、各地から集まった福島県の皆さんによる民謡や踊りも披露されました。

双葉町の井戸川克隆町長は「たくさんの方々に来てくださり、感謝しています。本当に素晴らしいイベントで、コープさん、埼玉県の皆さんのパワーを感じました。今日の感謝の気持ちを私たちの町の再建につなげたいです」と話されました。



「温もり応援隊」による手編みの靴下カバーほか。

手編みの靴下カバーで心からの支援

会場では、双葉町に北海道岩見沢市の「温もり届け隊」の皆さんが編んだ靴下カバー500足も贈られました。この取り組みには、さいたまコープ、埼玉県ユニセフ協会、ジェイアール東日本商事が、被災された方へのお届けに協力しています。今後は、全国の参加希望者に編み針と毛糸を送り、編んでもらう計画です。